

(様式2)

## 放射線等に関する教育実践事例

学校番号・学校名	〈小・46〉 いわき市立永崎小学校
〈実施日〉	平成 28年 6月 26日 (火)
〈実践教科等〉	※当てはまる番号に○を付けてください。4は( )に教科等を入れてください。 1 理科 (2) 学級活動 3 総合的な学習の時間 4 その他( )
〈実践内容〉	<ol style="list-style-type: none"><li>1. 「放射線」「放射能」のイメージについて ○児童からは、怖い、死、悪い、毒というイメージが挙げられた。</li><li>2. 放射線とは何かについて知る ○宇宙、空気、温泉、地面、建物、食べ物など、自分たちの生活の中でどこにでも存在することを理解させる。</li><li>3. 放射性物質と放射線のちがいについて ○放射性物質を懐中電灯に例え、放射線をその光に例えて放射性物質と放射線の区別をする。</li><li>4. 放射線は生活の中でどのように使われているか知る。 ○「物を通り抜ける」「物の性質を変える」「細菌などを殺す」などの放射線の特徴を生かして、工業、農業、医療などに利用されていることを知る。</li><li>5. 放射線から体を守るためには ○万一、大量の放射線を受ける危険がある時の身の守り方について知る。</li></ol> <p>(使用教材・参考資料)</p> <p>「放射線について考えてみよう」 放射線等に関する副読本作成委員会著 「放射線ってなあに？」 独立行政法人 科学技術振興機構 「放射線学習スキル」 エネルギー教育全国協議会 <a href="http://www.eneducation.jp/san/houshasen/houshaski11_01.html">www.eneducation.jp/san/houshasen/houshaski11_01.html</a></p>
〈成果〉	・放射線は怖いもの、悪いものという考え方をしている児童が多かったが、学習を通して、身のまわりにあり、生活に役立っている部分もあることを理解することができた。放射線についての正しい知識を得ることで、適切に身を守ったり、むやみに怖がったりすることなく生活できるよう、継続して指導していく。
〈課題〉	・副読本やワークシートを利用した学習だったので、実際に線量計を使ってみたり、桐箱の実験をしたりして視覚的に理解できるような教材を
資料作成担当者職(教諭)氏名(渡邊 千晴)	学校電話番号(55-7044)

### 【資料作成上の注意】

1. 平成27年8月～平成28年7月の実践についてまとめてください。
2. 提出期限の平成28年8月1日(月)までに電子メールで送信してください。  
(送信先: [kakuta-k@city.iwaki.fukushima.jp](mailto:kakuta-k@city.iwaki.fukushima.jp))